

令和7年度 寄附事業メニュー

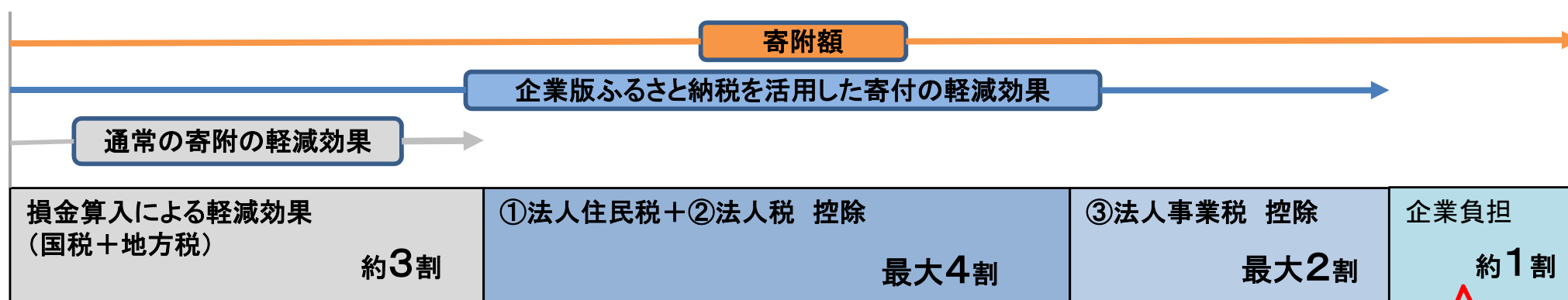
岡山市

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）とは

【制度概要】

○企業版ふるさと納税は、対象となる事業に企業が寄附を行うと税額が控除される制度です。

○寄附金額の最大約9割が法人関係税から軽減されます。



軽減効果最大
約9割に！

【対象となる企業】

○本社が岡山市外にある企業が対象となります。

【寄附額】

○1事業10万円から寄附ができます。

【寄附対象事業】

○まち・ひと・しごと創生総合戦略に関連する事業（次ページから主なものを紹介します）

「そうだ！おかやまで暮らそう！」プロジェクト

令和7年4月～令和8年3月



【目的】

「晴れの国おかやま」の魅力を感じられた方々の移住相談を年間約2,000件も受けています。私たちは、もっともっと岡山市の魅力をたくさんの人に伝え、知っていただき、岡山市で暮らしたいと望む方々の想いを実現したい！
ぜひ私たちと一緒に、そんな方々の想いの実現を応援してください！！

【内容】

○おかやまぐらし相談センター事業 (<https://okayama-gurashi.jp/>)

- ・東京・大阪に岡山への移住相談窓口を常設しています。
- ・仕事の斡旋だけでなく、エントリーシートの書き方や面接時のアドバイスなど、仕事探しに力を入れた支援をしています。
- ・東京、大阪の大学のキャリアセンターへ、岡山の企業情報や求人情報等をお届けしています。

○おかやま移住プロモーション事業 (<https://okayama-life.jp/>)

- ・岡山市の魅力を伝えるためのプロモーションを行っています。
- ・移住に関する情報をWebサイトやSNSでお伝えしています。
- ・岡山の魅力を詰め込んだPR動画を配信しています。

○移住助成事業

- ・岡山市への移住費用の一部を助成しています。



健康ポイント事業「OKAYAMAハレ活プロジェクト」

令和7年4月～令和8年3月



【目的】

スマートフォンアプリを用い、運動・栄養（食生活）・社会参加につながる活動にポイントを付与し、多くの市民が心身ともに健康になり、健康寿命の延伸を目指す事業です。

幅広い活動をポイントの対象とすることで、誰もがいつもの日常のなかで、楽しみながら自然と健康になれる環境の整備を進めます。

【内容】

対象者

18歳以上 の岡山市民、在学者、在勤者
【令和7年度参加目標 **30,000 人**】



スマホアプリをインストールするだけで、**すぐに参加可能**

ハレ活ポイント付与の対象

運動

- 歩 毎日の歩数
- 運動施設・サービスの利用

栄養 食生活

- 栄養メニュー喫食
- 健康的な食への意識付け
- 食に関するアドバイス

社会 参加

- イベント参加
- 文化施設等の利用
- 講座に参加
- フレイルチェック

目標達成

- 自身の健康目標を設定しセルフチェック

楽しい要素

○ゲーミフィケーション

キャラクターの育成



○月間及び年間の特典

- ・毎月抽選を実施し、店舗で利用できるデジタルクーポン等を提供
- ・毎月抽選への応募口数に応じて年度末の大抽選会に参加

企業参画の取組



○ポイント付与店

利用者は店舗等で自身のスマホで二次元コードを読み取り

- ・運動の機会/サービスの提供
- ・健康的なメニューの提供
- ・従業員向け健康促進（企業ヘルスアップ）



○協力企業

- ・協賛品の提供
- ・イベント企画/協力
- ・広告掲載
- ・寄附

健康づくりを応援



問い合わせ先 保健管理課 ☎086-803-1250 ✉ hokenkanrika@city.okayama.jp

OKAYAMAハレ活プロジェクトホームページ <https://harekatsu.jp/>

スタートアップ支援事業

令和7年4月～令和8年3月



【目的】

イノベーションを伴ったビジネスにより、社会に新しい価値を提供することで爆発的な成長を目指すスタートアップは、経済成長の担い手として期待されており、岡山市としても地域経済をけん引するような企業を生み出すことを目標に、スタートアップが創出され成長を促進させる環境づくりに取り組んでいます。

市内では岡山大学に起業部ができるなど若者を中心にスタートアップに対する機運が盛り上がってきています。

岡山市はチャレンジするみなさんを全力で応援しています！

【内容】

○スタートアップ支援拠点運営事業

岡山市は、産金官協働でスタートアップ支援拠点「ももスタ」を運営し、スタートアップの創出、成長を支援するとともにスタートアップのコミュニティ形成に取り組んでいます。

ももスタ公式ホームページ <https://momosta.com>

ご寄付いただいた企業様につきましては上記ももスタ公式ホームページへもロゴ掲載させていただきます！

また、企業様の事業PRイベントを優先的にももスタで開催する権利を提供できます！



お問い合わせ先 創業支援・雇用推進課 ☎086-803-1342 startup@city.okayama.jp

市立認定こども園の環境整備事業

令和7年4月～令和8年3月

目 的

施設運営の効率化を図りつつ、希望するすべての就学前の子どもに、等しく教育・保育を提供できるよう環境を整備します。

内 容

岡山市では、セーフティネットの役割を担う、市立幼保連携型認定こども園を中学校区（市内36区域）ごとに整備しており、令和8年4月には1園（竜操中学校区）が開園予定です。これらのこども園で使用する室内用遊具や園児用の組立式プールの購入など、就学前教育・保育の環境整備を行います。



問い合わせ先 こども園推進課

電話：086-803-1430 メールアドレス：kodomoen@city.okayama.jp



プレーパーク普及事業

令和7年4月～令和8年3月

【目的】

「外遊び」を通して子どもを心豊かに健全に育成し、また、外遊びの経験が少ない親世代や地域住民に外遊びの楽しさを再認識してもらい、「子育てにおける外遊びの重要性」への理解を深めます。また、地域住民と協働で事業を実施することにより、「外遊びを通した子育て」をテーマに、地域ぐるみの子育ての気運を高め、子どもが安心して健全に育つ地域環境を整えていきます。

【内容】

○プレーリーダーの養成

地域住民が自主的にプレーパークを開催し、子どもが安全で自由に外遊びができるよう、子どもの遊びを見守るプレーリーダーを養成します。

○プレーパークの開催

地域住民と協働し、地域の公園等で、自然素材を使った遊びや、季節を感じる遊び、手作りの遊具を使った遊びなど、子どもの発達に欠かせない様々な「外遊び」を体験できる場『プレーパーク』を開催します。

○プレーパークの普及

外遊びの重要性の周知や自主的なプレーパークの開催を推進するため、基礎を学ぶ講座や取組内容を振り返る研修会、プレーパーク開催のための補助金交付を行います。



問い合わせ先

地域子育て支援課

☎086-803-1224



学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト

令和7年4月～令和8年3月

【目的】

学生が、若者ならではの柔軟なアイデアの提案・実践による地域課題の解決や、大学等で学んだスキルを活用して小規模ビジネスの実現に取り組む活動に対して、財政面で支援し、地域づくりの次代を担う人材が地域に住み続け、活躍するまちづくりを進めます。

【内容】

○大学生等による地域課題の解決、地域活性化、起業へのチャレンジ

大学生等で構成されたグループが活動コースを選択し、そのコースの目的達成に向けて取り組みます。

令和6年度の活動内容紹介ページ <https://www.city.okayama.jp/shisei/0000058464.html>



No	活動コース	目的
1	ソーシャルビジネス	行政、企業、NPO及び地域団体等と協働し、地域課題の解決や地域活性化を図る
2	スモールビジネス	収入計画を策定し、商品やサービス等の開発、販売等の小規模ビジネスを目指す



問い合わせ先

政策企画課

☎086-803-1043



岡山芸術交流2025

令和7年4月～令和8年3月

【目的】

3年に1度、岡山城・岡山後楽園を中心とした歴史文化エリアで、世界最先端のコンセプチュアルアートを展示する国際現代美術展「岡山芸術交流2025」開催を通じて、官民協働による新たな魅力づくりや岡山市の新たな都市ブランドの構築、若年層のまちづくりへの参加促進等を図ります。

【内容】

「歩いて楽しむ」「資源を活かす」「世界を見る」「人を育む」の4つをコンセプトに、以下の本展・プログラムを実施します。

○現代アート展

アーティスト・ディレクターを中心に作品制作・会場選定を行い、会期中の展示等を行います。

○パブリックプログラム

県内の小・中・高等学校の来場の支援を行い、来場時の鑑賞を深めるため、ナビゲーターを公募・養成し、対話型鑑賞を実施します。

○アーティスト・トランスレータープログラム

アーティストならではの新しい視点で市民・県民を巻き込むプロジェクトを実施します。

○連携プログラム

現代アートに関するものに限定せず、展覧会を盛り上げていくために官民等と連携し各種プログラムを実施する。



子どもたちが鑑賞する様子
(岡山芸術交流2022)

問い合わせ先 文化振興課 ☎086-221-0033 info@okayamaartsummit.jp
岡山芸術交流ホームページ <https://okayamaartsummit.jp/2025/>



地域公共交通利便増進事業

令和11年3月まで

【目的】

路線バスは、利用者の減少や運転手不足による減便や路線廃止が続くなど、持続可能な公共交通ネットワークの構築が喫緊の課題となっています。

利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供するため、令和6年度から令和10年度を「公共交通再生の重点実施期間」として、公共交通の維持・拡充に向けた各種施策に取り組みます。

【内容】

○公共交通ネットワークの階層化に向けた路線再編

- ・乗継拠点の整備
- ・支線バスの小型車両の購入
- ・運行支援（支線）

○公共交通利用環境の改善

- ・ICカードシステムリニューアル
- ・デジタルサイネージの整備
- ・統合分析システムの開発
- ・低床車両の導入支援

○運転免許取得支援（路線バス・タクシー）



（支線バスの車両デザイン）



（乗継拠点整備イメージ）

※事業についての紹介HP

<https://www.city.okayama.jp/shisei/0000006208.html>



問い合わせ先

交通政策課

☎086-803-1376

生活交通の確保事業

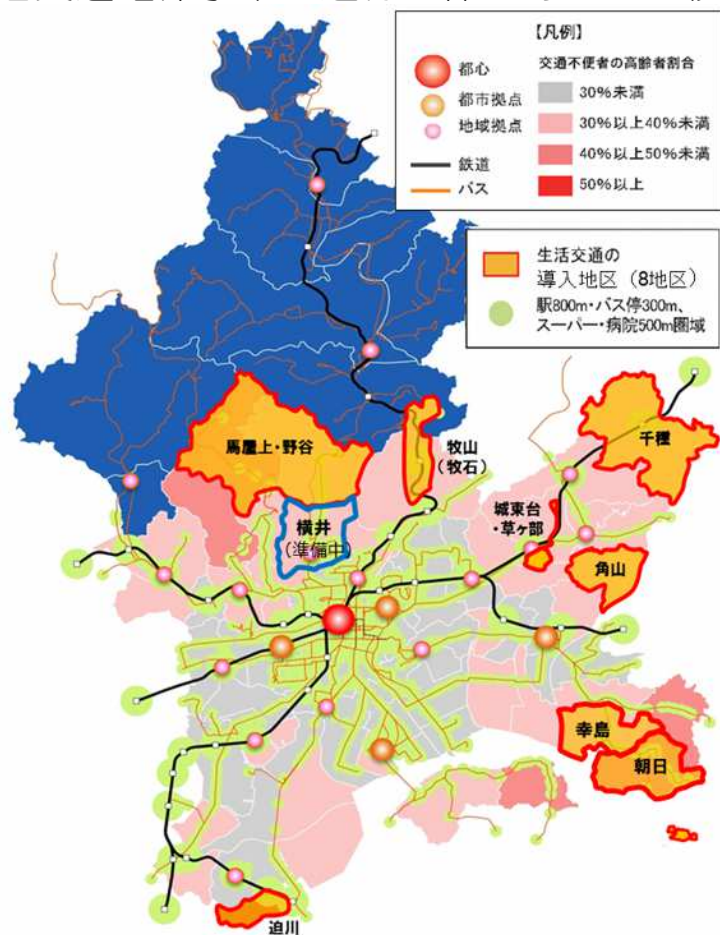
令和7年4月～令和8年3月

【目的】

移動手段を持たない高齢者をはじめとする交通弱者が、買い物や通院等の日常生活における持続可能な移動手段を確保できるよう、地域住民及び交通事業者との連携により、生活交通（デマンド型乗り合いタクシー）の導入促進の取組を進めます。また、すでに運行中の生活交通についても、ニーズに応じた運行改善や利用促進に取り組みます。

【内容】

○生活交通確保事業：運行主体である地元検討組織に対し、生活交通の導入支援及び運行経費に対する補助を行います。



※新たな生活交通の導入についての紹介HP

<https://www.city.okayama.jp/shisei/0000018683.html>



デマンド交通（千種地区）

問い合わせ先

交通政策課

☎086-803-1376



高齢者・障害者を対象とした路線バス・路面電車の運賃割引事業

令和7年4月～令和8年3月

【目的】

人口減少や高齢化が進行する中、自動車を運転できない高齢者等の日常生活を支える移動手段の確保が大きな課題となっています。そこで、公共交通の利用促進とともに、外出機会の創出や交通事故の削減を図るため、高齢者や障害者を対象とした公共交通の運賃割引を実施します。

【内容】

○公共交通高齢者・障害者運賃割引事業

路線バス・路面電車を対象に、高齢者・障害者運賃割引の実施

(1) 高齢者（65歳以上）・障害者の運賃割引（半額）を実施

(2) 障害者定期券の割引を実施

※割引（市負担）の利用条件

- ①岡山市民
- ②割引用専用カードでの利用
- ③乗車・降車のいずれかが岡山市内

※事業についての紹介HP

<https://www.city.okayama.jp/shisei/0000031610.html>



■割引専用ICカード「ハレカハーフ」



問い合わせ先

交通政策課

☎086-803-1376



岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業

令和11年度まで

【目的】

多くの方々が利用する岡山駅は、公共交通ネットワークの要であり、交通結節機能の強化を図るとともに、回遊性の向上、都心の活性化を図ることを目的に、岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業を進めています。

併せて、岡山市の玄関口である駅前広場の機能や魅力向上を図るため、後樂園に見立てた駅前広場整備を行います。

【内容】

○路面電車の岡山駅前広場乗り入れ（～令和9年3月）

- ・ 軌道延伸 延長 約100m（幅員=6.5m）
- ・ 停留場の新設（駅前広場内）
- ・ 交差点改良（駅前交差点の南進左折レーン新設）

○駅前広場整備（～令和11年度）

- ・ 日本三名園の一つである後樂園に見立てた駅前広場整備（上屋、カスケード（滝）、公共交通案内所、イベントスペース等の整備）

岡山駅前広場に路面電車が乗り入れるとどうなる？

- JR岡山駅と路面電車の電停の距離が近くなり、わかりやすくなるため、乗り換えが便利になります。
- 移動の選択肢が増えるため、今まで以上に気軽に移動ができるようになります。
- 駅前広場のリニューアルにより、屋根付きの通路や案内所、待合所、トイレが整備され、さらに公共交通が使いやすくなります。



※事業についての紹介HP

<https://www.city.okayama.jp/0000035766.html>



問い合わせ先

交通政策課

☎086-803-1374

岡山城「歴史を伝える城、集う城」プロジェクト

令和7年4月～令和8年3月

【目的】

令和4年にリニューアルした岡山城は、歴史家・磯田道史氏監修の展示や、天守の夜間一棟貸しなどが人気で、「お城ファンが実際に訪れた日本の城ランキング2024年版」※で第4位になりました。今後も、魅力的なイベントの開催や、岡山のまちの礎を築いた宇喜多家に焦点を当てた事業など、「歴史を伝える城、集う城」を体現する事業を展開していきます。

※ユーエム・サクシード(株) 2024年12月12日 プレスリリース

【内容】

○魅力的なイベントの開催

春・夏・秋のライトアップイベント「烏城灯源郷」や、インバウンドに人気の和 문화体験事業「岡山城でJAPANする!？」等を開催するとともに、国内外からの誘客活動を実施します。

○大河ドラマ誘致活動で宇喜多家を発信

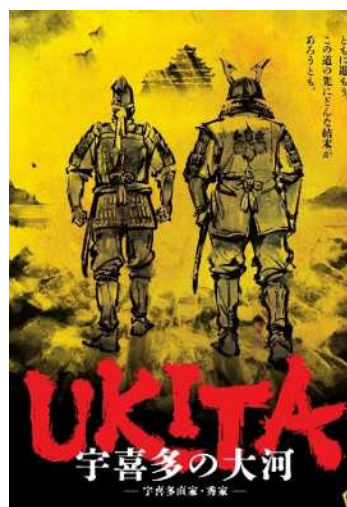
歴史に葬られた英傑・宇喜多直家や、忠義に生きた五大老・宇喜多秀家に光を当て、大河ドラマ誘致に向けた活動を行います。

○XRを活用した新しい岡山城展示事業

かつて多くの櫓や建物で威容を誇った岡山城本丸をCGで復元し、VR等で楽しめる新たな体験コンテンツを制作します。



夏の烏城灯源郷の様子



宇喜多大河プロジェクトメインビジュアルとお城EXPO(横浜市)でのプロモーション



自主防災組織育成事業

令和7年4月～令和8年3月

■自主防災組織とは



自主防災組織とは、地域住民が防災活動を互いに協力して行うための組織です。

- 平時には、防災知識の普及啓発、防災訓練、防災資機材の整備・点検、危険箇所確認など地域の防災体制の強化に取り組めます。
- 災害時には、住民が力を合わせて避難誘導や避難の声かけ、負傷者の救出・救護、避難所の運営などを行います。

■事業の目的と内容

自主防災組織の結成と活動の充実のため、防災活動経費等への助成を行っています。

○対象となる事業

- ・自主防災組織の結成
- ・自主防災組織による防災講座や訓練の実施、地域防災マップや個別避難計画の作成

○助成金の対象

- ・発電機、投光器、リヤカー等の備品
- ・非常食、ブルーシート等の備蓄品
- ・避難訓練等実施時の水・お茶・スポーツドリンクなど



事業に関する紹介HP <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000011907.html>



問い合わせ先 危機管理室 ☎086-803-1082 tiikibousai@city.okayama.jp

寄附をいただいた企業様にとってのメリットについて

令和6年度寄附企業の岡山市広報媒体等での周知例

○岡山市のホームページで紹介

<https://www.city.okayama.jp/shisei/0000065233.html>



○岡山市役所本庁舎1F エレベーター横デジタルサイネージ

○岡山市区役所(4カ所)市民コーナーデジタルサイネージ

※デジタルサイネージでの掲載期間は、掲載場所により異なります。

○岡山駅南地下道デジタルサイネージ

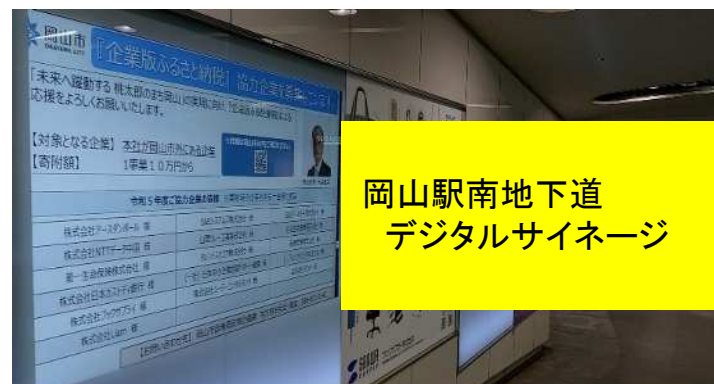
※岡山駅と大型商業施設を直結する地下道(通行量2~3万人/日)

○岡山シティエフエムの市政番組内で企業名の紹介

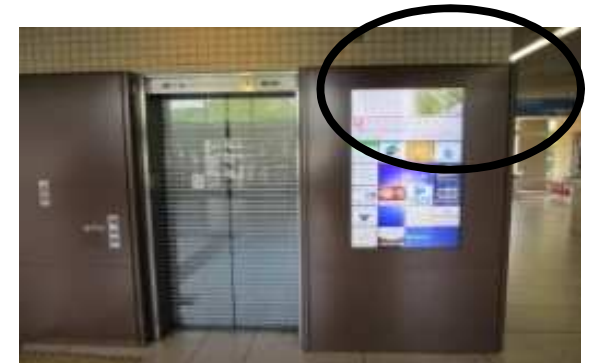
○「市民のひろば おかやま」



市民の広場(7月号)



岡山駅南地下道
デジタルサイネージ



岡山本庁舎1階デジタルサイネージ

寄附をいただいた企業様についてのメリットについて

○寄附をいただいた企業様については、対象事業チラシへの社名掲載、岡山市広報媒体への掲載等を通じ、PRさせていただいています。

対象事業チラシ等への社名掲載例

「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」では、岡山市内及び近隣の大学に配布するリーフレットに社名掲載

★先輩のイノベーションチャレンジの例

1. 岡山の特産品の中古車販売 (ノートルダム清心女子大学・岡山通リ上野)
2. 世界遺産の食文化を観光客に伝える活動 (岡山大学・The World Kitchen)
3. 岡山県立大学・OPU Craft Beer Lab
4. 地元とつながる世界遺産のPR活動 (倉敷市立大学・倉敷市)
5. 岡山県立大学・倉敷市に設置した観光案内マップの作成 (ノートルダム清心女子大学・大塚ゼミ)

★参加した先輩や先生からのメッセージ

企業名掲載部分

あなたとあなたのご家族を待つ暮らしやすい岡山6市町

岡山で就職、新しい暮らし / おかやま

就職の相談はもちろん、住まいの相談、補助金情報など

岡山ではたらく、岡山で暮らす

企業名掲載部分

「そうだ！おかやまで暮らそう！プロジェクト」では、東京・大阪の相談センターの窓口で配布するリーフレットに社名掲載

ご質問等ございましたら担当課までご連絡ください。

<担当>

岡山市政策局政策部政策企画課 地方創生担当

電 話:086-803-1043 FAX :086-803-1732

Email: seisakukikaku@city.okayama.jp